

対馬釜山事務所だよ!

# 成年、犬の話。

今年には12干支の中で11番目の動物である戌の年です。洋の東西を問わず、人間が一番親しく感じる動物が、犬ではないでしょうか。学者によると犬は旧石器時代から家畜として人間と共に生活をしてきたそうです。性質が穏やかで頭がよく、人にすぐ懐きます。嗅覚と聴覚が鋭く、飼い主への忠誠心はどの動物より強いと思います。この性質から韓国でも犬はもっとも愛されてきたペットです。

韓国ではお年寄りが孫を抱き、お尻をポンポンと叩きなら「ネ ガンアジ」とよく言います。「ネ ガンアジ」は「私の子犬」という意味で、韓国人がどれくらい犬を親しく感じているかが分かるでしょう。

昔から韓国人は、犬が泥棒を防ぐことや狩猟、盲人案内、護身の役割だけでなく、鬼の悪戯や災いを払い、家庭の幸せを守る能力があると信じていました。特に毛が長くてふさふさしている韓国在来種の犬である「サブサル犬」がいる所には鬼も近づけないということわざもあり、偉い人の家では必ず飼ったそうです。犬を飼えない家では、犬の絵を掛けるだけで厄払いが出来ると信じられました。

犬と言ったら東京渋谷にある「八チ公」が有名ですね。死んだ飼い主を待ち続ける八チ公の行動はまさに犬の忠誠心を見せてくれる物語でしょう。



契樹犬の銅像



サブサル犬のモニュメント

韓国でも「契樹犬」という日本の八チ公と同じような犬がいました。時代は新羅。全羅北道の任実という町に犬を可愛がっていた金という男の人が住んでいました。ある春の日、彼は市場で久しぶりに友達に会いお酒を飲み始めました。夕方、酔っ払ってしまった彼は帰りの途中、ある丘の芝生の上で寝込んでしまいました。その時、丘の向こうから火事が起こり、どんどん彼の所に近づいてきました。一緒にいた犬は必死で彼を起こそうとしましたが金は起きませんでした。それで、犬は近くの小川に走り、自分の体に水をたっぷりつけ、彼の周りの芝生をぬらしました。そうすることを何百回。やっと金が目を覚ました時、犬は疲れ果てて死んでしまいました。状況を把握した金は命を救ってくれた犬の墓を作り、印として自分の杖を墓の前に差し立てておきました。その後、杖からは葉っぱがでて、大きなケヤキになり、その木を契樹、また飼い主を救って死んだ犬を契樹犬と言い伝えています。

今月号には年末年始の時、釜山の海雲台海水浴場に設置されたサブサル犬のモニュメントと、任実郡にある契樹犬の銅像の写真を載せますので、幸せをもたらすお守りとして部屋に張っておくのはどうでしょうか。契(ごう) = 意味：人の心がよくわかる犬

対馬釜山事務所 **金 京一、辛 恩京**

## 国保だよ

(国保連合会からのお知らせ)  
介護サービス苦情相談窓口のご案内  
国保連合会では、介護保険法に基づき  
介護サービスの質の向上に関する調査や  
事業者及び施設への指導及び助言を行う  
機関として、苦情相談窓口を設け介護サ  
ービスに対する相談や苦情を取り扱って  
います。

【申立できる人】  
介護サービスの利用者、家族及び介  
護サービスを受けている状況を把握さ  
れている方。  
【苦情申立の方法】  
国保連合会への申立は、原則として  
苦情申立書(対馬市保険課に用意して  
います。)に必要事項をご記入の上、  
国保連合会の介護サービス苦情処理委  
員宛にご提出していただくことにし  
ておりますが、電話でも結構ですので、  
お気軽にご相談ください。

【受付時間及びご連絡先】  
受付時間：平日の午前9時から  
午後5時まで  
(土曜・日曜・祝祭日・12月29日から  
1月3日を除く)  
連絡先：〒850 0025  
長崎市今博多町8番地2(国保会館)  
長崎県国民健康保険団体連合会  
介護保険課

助095 826 1779 (苦情相談直通)